

魅力ある大学づくりー学長のリーダーシップを活かしてー



山梨県立大学
Yamanashi Prefectural
University



地域を愛し、地域を育てる大学

平成30年1月20日(土)

山梨県立大学理事長・学長
清水一彦

大学制度の日米比較

	日本	アメリカ
	6-3-3-4制	5-3-4-4制、6-3-3-4制---
学期制	セメスター制	セメスター制、クォーター制---
単位制	セメスター単位	セメスター単位、クォーター単位--
卒業制度	4年以上、124単位	120(180)単位、GPA
教育	教養教育、専門教育	リベラルアーツ
機能	組織中心主義	プログラム中心主義
学習(修)	受動的学習	能動的学修
研究	個人研究費	競争的外部資金
1学期履修科目	10科目～	4～5科目
学習集団	コホート集団(同一年齢集団)	異年齢集団
認証評価(第三者評価)	官と民のシステム	民のシステム

高等教育改革の流れと課題

1. 近年の高等教育改革の流れ

(1) 戦後高等教育制度の総点検・見直し

→「狩猟民族社会の高等教育システム」の「農耕民族社会の高等教育システム」化

(2) 高等教育の「システム」改革から社会「政策」の改革へ

(3) インプット改革からスループット、アウトプット・アウトカム改革へ

(4) 教育(education)から学習(学修)(learning)へ

(5) 「保護」から「淘汰」の時代へ



2. 今後の高等教育改革の大きな制度課題

① 組織中心から(学位)プログラム中心の改革へ → A

② 内部質保証システムの構築(→学修成果の可視化) → B

3. 求められる3つの改革視点

①学生本位の視点:

学生本位の視点に立った教育のあり方を徹底し、**学位の質を保証**する

②国際の視点:

国際的通用性(互換性)と競争力のある**教育研究システムを整備**する

③未来の視点:

激しい社会変化の中で卓越性を確保する**ガバナンスを確立**する

A 学位プログラムについて

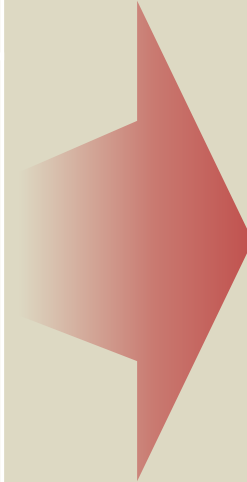
学位プログラムとは？

学生による学修成果を重視する観点から、学生が短期大学士・学士・修士・博士・専門職学位といった学位を取得するに当たり、大学等において、当該学位のレベルと学問分野に応じて達成すべき能力を明示し、その能力を学生が修得できるように体系的に設計された教育プログラムのこと

【これまで】

教員の研究分野を基盤として行われていた学部・学科、研究科・専攻等における教員の研究分野と即一体化した教育のあり方

個々の教員が提供する授業の総和としてプログラムが組まれる



【学位プログラム】

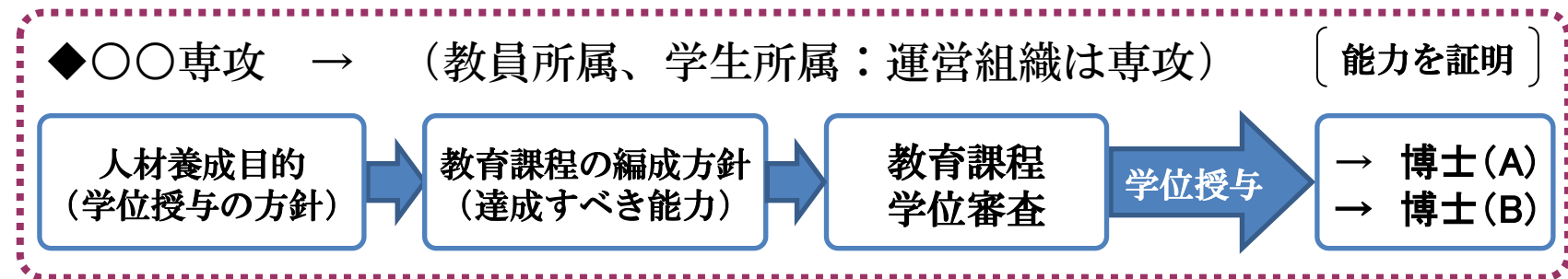
学位の取得を目指す学生の視点に立って、その学位のレベルや分野に応じて修得すべき能力を身に付けることができるように、教育プログラムを学生中心に体系的に整備する

学位に相応しいプログラムとするために、教員がどのように貢献するかという考え方に移行するかが重要

従来型（組織中心） → 学位プログラム型（学位中心）

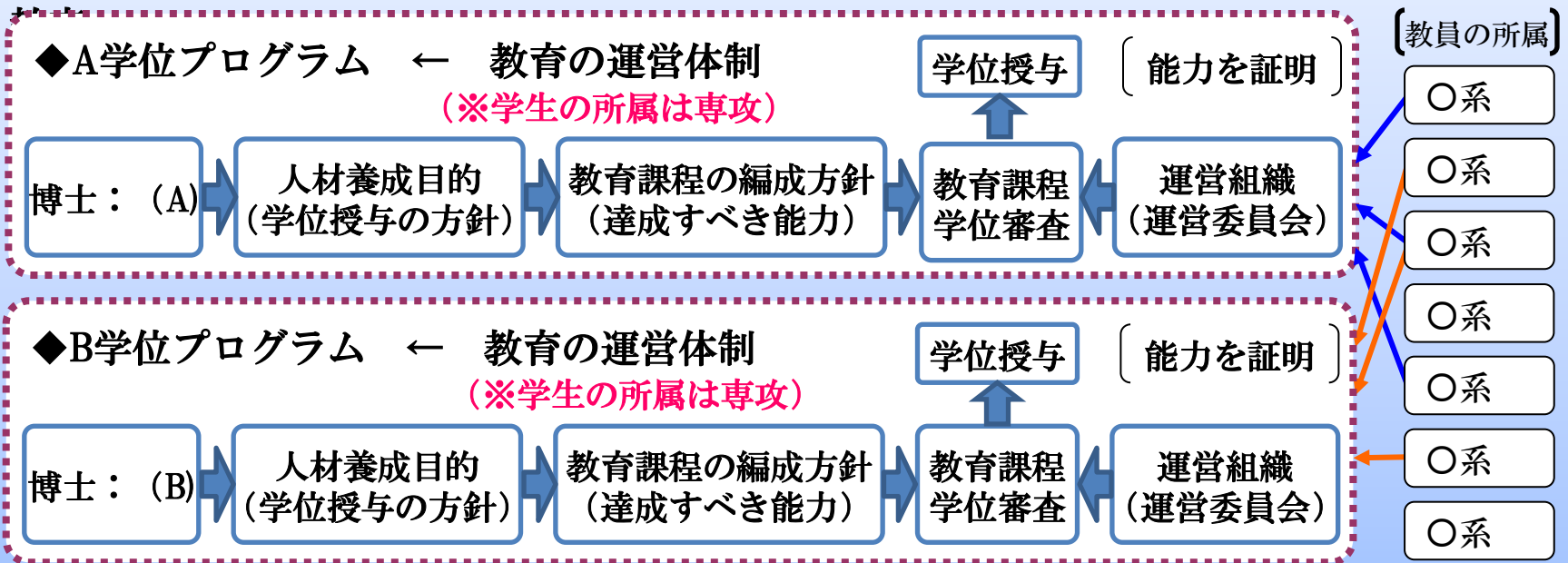
従来型（組織中心）

○従来型は、教育組織が、教育組織の教育目標を達成するための教育



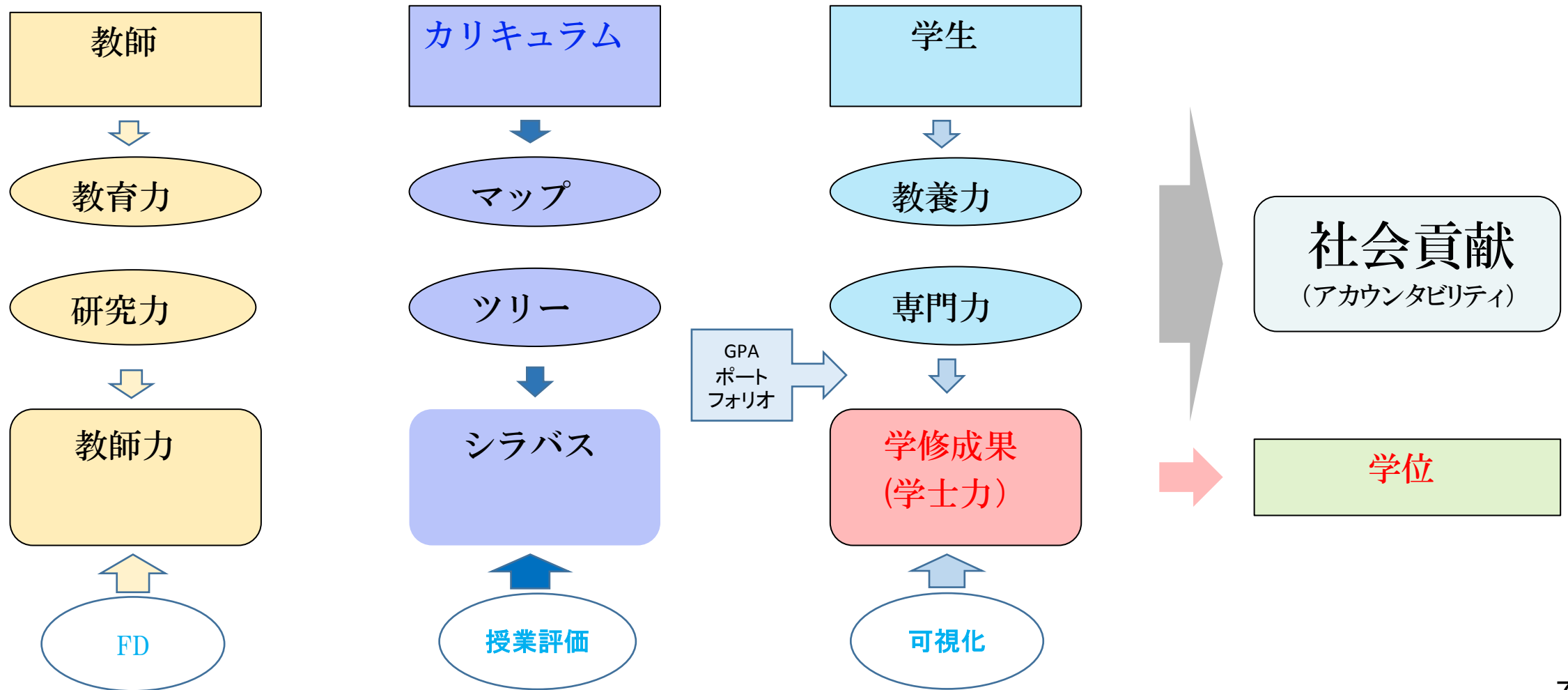
学位プログラム型（学位中心）

○学位プログラム型は、学位の種類及び専門分野ごとに人材養成目的を達成するための



B 教育の質保証の考え方(原点回帰)

—社会に有為な人材輩出のシステム構造—



学士力の順位(2017年前期)

数字はダミー

学士基盤力 (共通)	学士専門力(学部・学科)				学士専門力 (教職)
	3.40	3.40	3.35	3.40	
3.40	3.35 国際政策学部	3.40 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 人間形成学科	3.35 看護学部	3.40	
3.68人間関係形成力	3.61国際コミュニケーション専門力	3.31実践力・問題解決力	3.56社会貢献力	3.42援助関係形成力	3.86自己学修力
3.60実践力・問題解決力	3.55国際コミュニケーション基礎力	3.30人間関係形成力	3.44専門知識理解	3.41看護実践力	3.67教職実践力
3.40想像力・表現力	3.54地域マネジメント専門力	3.26地域貢献力	3.40研究力	3.41思考力・判断力	3.50教職知識理解
3.37自己学修力	3.39外国語活用能力	3.26態度・志向性	3.39自己学修力	3.40教養を高める力	— 社会貢献力
3.33自然・社会・文化理解	3.32国際政策教養力	3.23知識理解力	3.35人間関係形成力	3.39自己学修力	
3.32地域・国際コミットメント力	3.28国際ビジネス・観光専門力	3.22思考・技能	3.33技能活用力	3.39探究する力	
	3.25地域マネジメント基礎力	3.20共感的理解力	3.32創造的表現力	3.38連携し協働する力	
	3.22国際ビジネス・観光基礎力			3.38変革を志向する力	
	— 能動的実践力				
	— 専門的問題解決能力				

改革の戦略目標とガバナンス



ガバナンス 戦略目標	パワー (power)	リーダーシップ (leadership)	スキンシップ (skinship)
意識変革	×	○	◎
スピード感	◎	○	◎
実行性	○	◎	◎



外部指摘

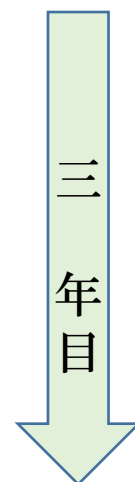
教学ガバナンス力の自己評価



一年目

二年目

主要改革事項	パワー (power)	リーダーシップ (leadership)	スキンシップ (skinship)	外部指摘
第二期中期目標・計画づくり		素案作成	学生・若手教員意見聴取	
教員業績評価試行		制度設計		給与に反映！
サブシステム(GPA・ナンバリング)設計		制度設計		
規程・規則の改定	意思決定		個別相談	
内部質保証システム	意思決定	制度設計		
新3P策定	意思決定	制度設計	FD	
カリキュラムマップ・ツリー	意思決定	制度設計	委員会説明	
新学生授業評価	意思決定	制度設計		
AOセンター設置	意思決定			
全学委員会の全面見直し	意思決定	原案作成	個別相談	
副学長・全学特任教授の新設	意思決定			



主要改革事項	パワー (power)	リーダーシップ (leadership)	スキンシップ (skinship)	外部指摘
新大学院設置構想		構想概要作成	教授会説明	
入試改革	意思決定			給付奨学金を！
学事暦の見直し			FD	
客員教授制の導入	山梨経済同友会と協定		委員会説明	
大学ブランディングづくり	意思決定			
学内センターの改組再編		改組案の作成		機能強化を！
サテライトキャンパス構想	意思決定			
認証評価自己報告書作成		参照モデル作成		